

# セ試「地歴」「公民」を統合、 “地歴 2 科目選択も可”の方向か!?

理科は 1 コマにして、2 科目選択に。早ければ 22 年度にも?

旺文社 教育情報センター 19 年 7 月

大学入試センターはこの程、現行のセンター試験(以下、セ試)「地理歴史」(以下、地歴)と「公民」のそれぞれの試験枠を 1 コマに統合し、“地歴 2 科目選択”を可能とする時間割の改編案をまとめたようだ。

日本史と世界史など、地歴 2 科目を選択できるよう、これまで国立大学協会(以下、国大協)から試験枠見直しの要望が出されていた。

現在、中教審で次期学習指導要領改訂に向けた審議がなされており、19 年度末までには改訂告示の予定であるが、今回の改編は現行課程の“セ試時間割の改編”として、早ければ 22 年度からの実施もあり得るようだ。

## < 国大協、「地歴」2 科目化を要望 >

地歴から 2 科目を選択受験させたいという要望は、国立大の文系学部を中心に根強く、セ試「5 教科 7 科目」体制の見直しの中でその実現を図るべく、国大協は大学入試センターに要望書を提出していた(14 年 4 月、6 月)。

### ●国立大の過半数が地歴 2 科目受験を要望

国大協が行った、18 年度からの新課程セ試実施に対する当時の国立大学長アンケートでは、過半数に当たる 54 大学(14 年 10 月の再編・統合以前の当時、全 95 大学に対する割合 = 56.8%)の学長が「地歴 2 科目受験は必要だ」とし、「2 科目受験に反対」は 10 大学(同、10.5%)に留まった。

また、「どちらともいえない」や「その他」は 31 校(同、32.6%)にのぼったが、これらの大学は、およそ次のような 2 グループに分けられたという。

- ① 理系、医学系、教員養成系等の単科大グループで、これらの大学の多くは入試科目の配分上、地歴の受験は 1 科目を超えないとしていた。
- ② 受験生の負担や、セ試の実施上の過密化を懸念するグループで、賛成、反対の明確な判断を保留した回答が多く含まれていたという。(図 1 参照)

なお、アンケートの自由記述では、学長個人の考えとして、地歴 2 科目受験程度は大学教育の前提としている意見が多かったという。

## < 試験枠の改編 >

国大協の当時の要望書の中で、「地歴」と「公民」の試験枠改編の方法として、次のような「地歴・公民」及びのグループ分けが例示された。

- ・「地歴・公民」 : 世界史 A、世界史 B、現代社会
- ・「地歴・公民」 : 日本史 A、日本史 B、地理 A、地理 B、倫理、政治・経済

これにより、「世界史と日本史」、「世界史と地理」の組合せが可能としている。

大学入試センターの検討ではこの案に加え、「地歴・公民」1コマにして2科目受験とする案や、「地歴」の時間を延長して2科目受験とする案などが検討されたようだ。

検討に当たっては、現行のセ試実施の日程(2日間)の中に収めること、「公民」受験を排除するような仕組みは望ましくないことなどが配慮されたようだ。

#### <「地歴・公民」1コマに統合>

上記のような経緯、検討の結果、現行の「地歴」と「公民」各1コマの試験枠を統合し、「地歴・公民」1コマ(試験時間は例えば100分～120分)にまとめ、計9科目の中から2科目以内を選択(同一科目のA・B科目選択は不可)、受験することで固まったようだ。

(表1参照)

#### <「理科」3コマを1コマに統合>

日程(試験時間)の関係などから、理科についても現行の3コマを1コマ(6科目)に統合し、2科目以内を選択、受験させることになりそうだ。

その場合、現在、京都大-医・大阪大-医・佐賀大-医・京都府医大・大阪市大-医の医学科で理科3科目(物理・化学・生物)必須となっているが、「セ試2科目+2次理科1科目」などで対応することも予測される。

(表1参照)

#### <早ければ19年度中に告知、22年度から実施も！>

前述したように現在、中教審では次期学習指導要領改訂に向けた教育課程全体の見直しを審議しており、高大接続の観点などから、高校卒業資格試験化なども含め、大学入試の改善も幅広く議論している。

今回のセ試時間割の改編案は、上記のような大学入試に関する根本的な制度設計とは別に、現行課程セ試の運用面での改革、改善策とみられる。

そうであれば、20年度セ試の成績請求票に「国公立AO入試用」を新設したことや、21年度以降のセ試実施日を「1月13日以降の最初の土・日曜日」に規定したことと同様、早期実現を目指し、“入試科目変更等の実施2年前の周知”という内規に則り、19年度中に決定、告知し、22年度からの実施も十分あり得ることだ。

#### <不公平感、どう払拭するか>

今回の改編案では、1コマの試験枠に“2科目受験者”と“1科目受験者”とが存在し、途中退席ができないため、“1科目受験者”は結果的に2科目受験者の2倍の試験時間となる。これは、得点にどう影響してくるのだろうか。“2科目受験者”が「2科目必須」と「1科目受験可」との大学・学部を併願する場合、“1科目受験者”との不公平感は否めない。

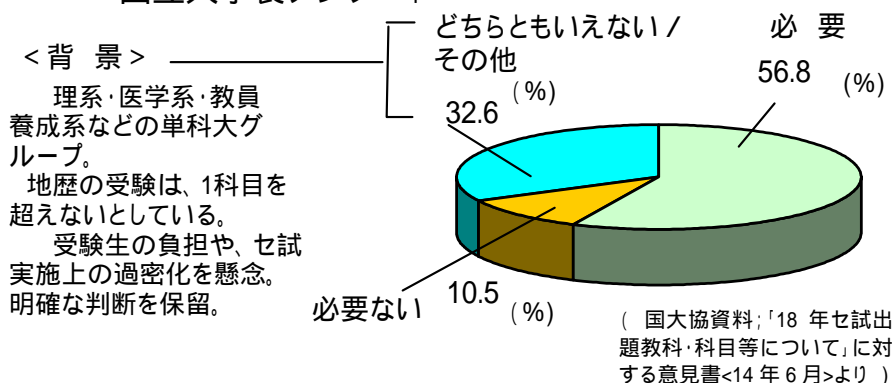
大学入試センターからセ試利用大学への成績提供の仕方や大学側の取扱いなどが今後の検討課題となろう。

また、現行の「公民」は3科目とも全て2単位科目だが、「地歴」(4単位のB科目を対象)と統合した場合、4単位の「地歴」と2単位の「公民」とを同等に扱うことになるのか。

大学側に対し、「公民」を入試科目から敬遠させないためにも、例えば「倫理、政治・経済」(4単位相当)などの出題科目の再編も視野に、今後の検討が必要となろう。(表2参照)

(図 1)

## セ試「地歴」2科目受験について - 国立大学長アンケート -



(表 1)

### セ試「試験枠」の改編案

現 行				改 編 案			
		試験時間	科目選択の方法			試験時間	科目選択の方法
地歴	世界史A	60分	6科目のうち、1科目を選択、解答	地歴・公民	世界史A	100分 ～ 120分	9科目のうち、1科目または2科目を選択、解答。 (同一科目におけるA・Bの2科目選択は不可)
	世界史B				世界史B		
	日本史A				日本史A		
	日本史B				日本史B		
	地理A				地理A		
	地理B				地理B		
公民	現代社会	60分	3科目のうち、1科目を選択、解答	現代社会	100分 ～ 120分	6科目のうち、1科目または2科目を選択、解答	
	倫理			倫理			
	政治・経済			政治・経済			
理科	理科総合B	60分	2科目のうち、1科目を選択、解答	理科	理科総合A	100分 ～ 120分	
	生物				理科総合B		
理科	理科総合A	60分	2科目のうち、1科目を選択、解答	理科	物理	100分 ～ 120分	
	化学				化学		
理科	物理	60分	2科目のうち、1科目を選択、解答	理科	生物	100分 ～ 120分	
	地学				地学		

### 地歴、公民、理科の履修形態

(表 2)

教科	科目	標準単位	全ての生徒に履修させる科目
地歴	世界史A	2	[ ]
	世界史B	4	
	日本史A	2	
	日本史B	4	
	地理A	2	
	地理B	4	
公民	現代社会	2	「現代社会」または「倫理」、「政治・経済」
	倫理	2	
	政治・経済	2	
理科	理科基礎	2	2科目(「理科基礎」、「理科総合A」または「理科総合B」を少なくとも1科目含む)
	理科総合A	2	
	理科総合B	2	
	物理	3	
	物理	3	
	化学	3	
	化学	3	
	生物	3	
	生物	3	
	地学	3	
地学	3		

注. [ ] は、それらの科目のうち、1科目が必修を示す。